

要約貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
	第64期 平成30年3月31日現在			第64期 平成30年3月31日現在	
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	1,492,357		流動負債	2,759,053	
固定資産	8,312,120		固定負債	4,918,440	
有形固定資産	6,852,248		負債合計	7,677,494	
無形固定資産	110,246		(純資産の部)		
投資その他の資産	1,349,626		株主資本	2,197,078	
繰延資産	82,546		評価・換算差額等	12,452	
			純資産合計	2,209,530	
資産合計	9,887,024		負債及び純資産合計	9,887,024	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

要約損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第64期 平成30年3月31日	第63期 平成29年3月31日
売上高	7,032,030	1,377,875
売上総利益	5,654,154	5,643,498
販売費及び一般管理費	10,656	24,014
営業利益	24,014	150,142
営業外収益	150,142	115,471
営業外費用	115,471	56,296
経常利益	56,296	9,663
特別利益	9,663	68,838
特別損失	68,838	23,734
税引前当期純利益	23,734	68,833
法人税、住民税及び事業税	45,098	137,672
法人税等調整額	137,672	
当期純損失		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

SD エンターテイメント株式会社

〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目8番地
TEL 011-241-3951

第64期 報 告 書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

SD エンターテイメント株式会社

事業の状況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動、地政学的リスクの存在等の影響もあり、不安定な要素を抱えつつ推移しました。

このような環境の下、当期は、札幌市の大型複合アミューズメント施設における大型ゲーム場退店跡にフィットネス道内初出店並びに複合カフェ併設とテナント入替を実施するという大規模な業態転換、フィットネス事業の一部老朽化既存施設の売却・改修及びプロテインパー全店導入をはじめとする成長アイテム等への設備投資、新型クレーンゲーム機の集中投資をはじめとするGAME事業への勝ち残り戦略等の実行などの構造改革投資を積極的に実施するとともに、子会社においては企業主導型保育園の開設等の先行投資を実施いたしました。

その結果、売上高は79億40百万円（前連結会計年度比2.7%増）、売上総利益は64億43百万円（同3.6%増）、営業利益は68百万円（同63.5%減）、経常損失は73百万円（前連結会計年度は経常利益52百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は20百万円（前連結会計年度比2.3%増）となりました。

事業部別の概況

(GAME事業部)

GAME事業部につきましては、平成29年5月に大型店舗「ディノスパーク札幌白石店」を業態転換のために閉鎖した影響があったものの、大量導入した新型UFOキャッチャーの優良店への積極的な導入効果及びネットキャッチャー事業の運営方法の見直しを行ったうえで事業を再開した結果、プライズジャンルの売上については前連結会計年度を上回り、堅調に推移しました。売上高は22億57百万円（前連結会計年度比1.3%増）となりました。

(フィットネス事業部)

フィットネス事業部につきましては、「プロテインパー」、「空中ヨガ」、「ホットヨガスタジオ」などの新規アイテムを、店舗特性を踏まえた上で、既存店舗への順次導入を進めると

ともに、スタッフサポートを重視した「続けられるクラブ」づくり実施のため、トレーナーの社員化比率を高める他、教育研修にも力を入れました。8月には東京都内に小型実験店舗を出店、10月には業態転換に伴う「スガイディノス札幌白石店」へのフィットネス道内初出店を実施いたしました。それらの結果、「SDフィットネス国立店」の店舗売却（10月）が減収要因となりましたが、出店の効果等もあり、売上高は20億69百万円（前連結会計年度比0.1%増）となりました。

(ボウリング事業部)

ボウリング事業部につきましては、推進中のLTB（ボウリング教室）を拡大し、トーナメント・リーグへ繋げたことや当社専属のプロボウラーによるジュニア教室を開催し顧客増を図りました。また、併設のゴルフパーのリニューアルや投げ飲み放題企画の実施、団体予約獲得を主目的とした職域向けセールスマンの人員増による渉外活動の強化、3月に「ディノスボウル帯広店」に併設して「ディノスピリヤード&ターゲット店」を開店した結果、売上高は11億18百万円（前連結会計年度比3.5%増）となりました。

(施設管理事業部)

施設管理事業部につきましては、「シネマ」部門において、8月までは「美女と野獣」及び「銀魂」等のヒット作の上映を行い堅調に推移しておりましたが、9月以降は全国的にヒット作に恵まれず一転して軟調に推移した結果、売上高は9億45百万円（前連結会計年度比4.1%減）となりました。「その他」においては、売上高は2億55百万円（前連結会計年度比3.6%減）となりました。

(その他)

その他のカフェ事業につきましては、7月に「ディノスカフェ札幌狸小路店」を閉店し、8月に大型施設の業態転換の一環として「ディノスカフェ札幌白石店」をオープンしました。

また、通信テレマーケティング事業及び介護事業等を営む子会社グループについては、前期より事業を開始した通常の認可外保育は閉園しましたが、新規開業した企業主導型保育園と放課後デイサービスの売上が寄与したことなどにより、売上高は12億94百万円（前連結会計年度比17.0%増）となりました。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
	第64期 平成30年3月31日現在	第63期 平成29年3月31日現在		第64期 平成30年3月31日現在	第63期 平成29年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,004,934	2,173,412	流動負債	3,278,867	3,119,829
現金及び預金	1,060,738	1,454,344	買掛金	256,441	292,272
売掛金	520,055	355,269	短期借入金	50,000	67,900
商品	45,488	43,433	一年内償還予定の社債	1,067,200	979,200
貯蔵品	89,717	82,276	一年内返済予定の長期借入金	499,153	555,423
繰延税金資産	42,889	80,950	一年内返済予定の長期未払金	223,174	197,752
その他	248,438	158,409	リース債務	263,080	225,041
貸倒引当金	△ 2,395	△ 1,272	未払金	479,041	473,190
固定資産	8,480,097	8,198,961	未払法人税等	93,276	29,789
有形固定資産	7,022,113	6,751,072	ポイント引当金	34,632	16,608
建物及び構築物	3,428,924	3,153,244	その他	312,868	282,651
機械装置及び運搬具	54,770	42,316	固定負債	4,958,122	5,015,399
アミューズメント機器	186,742	238,124	社債	2,752,800	2,471,500
工具、器具及び備品	173,774	150,374	長期借入金	1,514,569	1,687,592
土地	2,670,817	2,670,817	長期未払金	96,968	233,861
リース資産	504,083	494,069	リース債務	282,973	310,257
建設仮勘定	3,000	2,125	繰延税金負債	66,069	63,507
無形固定資産	230,520	221,810	資産除去債務	161,394	161,800
のれん	119,774	142,266	その他	83,346	86,881
その他	110,745	79,543	負債合計	8,236,990	8,135,229
投資その他の資産	1,227,464	1,226,078	(純資産の部)		
投資有価証券	39,640	24,049	株主資本	2,318,136	2,306,319
長期貸付金	155,008	185,837	資本金	227,101	227,101
差入保証金	939,737	922,483	資本剰余金	1,935,305	1,935,305
その他	93,078	93,707	利益剰余金	165,414	153,597
繰延資産	82,546	76,407	自己株式	△ 9,684	△ 9,684
社債発行費	82,546	76,407	その他の包括利益累計額	12,452	7,232
			その他有価証券評価差額金	12,452	7,232
資産合計	10,567,578	10,448,781	純資産合計	2,330,588	2,313,551
			負債及び純資産合計	10,567,578	10,448,781

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第64期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第63期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
売上	7,940,628	8,281,501
売上原価	1,497,380	2,061,334
売上総利益	6,443,247	6,220,166
販売費及び一般管理費	6,374,497	6,031,695
営業利益	68,749	188,471
営業外収益	13,958	21,557
受取利息	1,890	2,009
受取配当金	896	913
アミューズメント機器売却益	1,198	8,501
受取保険金	4,113	4,046
雑収入	5,859	6,085
営業外費用	156,545	157,649
支払利息	71,588	75,922
社債保証料	27,803	24,567
社債発行費償却	24,650	21,480
アミューズメント機器処分損失	10,875	12,761
雑損失	21,628	22,918
経常利益又は経常損失(△)	△ 73,836	52,378
特別利益	221,328	38,187
固定資産売却益	273	367
投資有価証券売却益	108	2,319
受取和解金	-	4,259
移転補償金	-	4,350
補助金収入	153,062	11,936
受取補助償金	52,645	-
資産除去債務戻入益	4,127	3,699
新株予約権戻入益	-	3,747
長期預り金戻入益	-	7,509
事業譲渡益	11,111	-
特別損失	11,621	46,827
固定資産売却損	149	172
固定資産除却損	5,398	7,586
減損損失	6,072	29,468
耐震工事関連費用	-	9,600
税金等調整前当期純利益	135,870	43,739
法人税、住民税及び事業税	76,231	33,667
法人税等調整額	38,868	△ 10,236
当期純利益	20,771	20,307
親会社株主に帰属する当期純利益	20,771	20,307

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。